



いくせい通信

# Smile up!

～不寛容な社会～

2024.12.16

No. 9

酒田市青少年指導センター  
酒田中央西町2-5-9  
TEL 0234-24-2901

先日、悲しい事故が起きてしまいました。東京・三鷹市の歩道で自転車に乗っていた高校1年の女子生徒が、散歩をしていた高齢の男性と衝突し男性が死亡してしまった事故です。先月号でお知らせした「ながら運転」ではなかったようですが、寒くて下を向いたまま運転しての事故だったようでした。



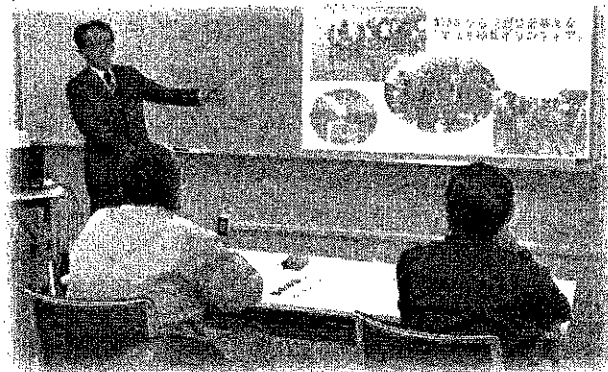
警察庁によると日没前後1時間における死亡事故は、10月から12月にかけて最も多く発生していて、時間帯別では午後5時台から午後7時台が最も多く、その時間帯の自動車と歩行者の死亡事故は419.5件と、全体の約半数を占め昼間の約3.3倍に上るそうです。子どもたちに注意を呼びかけていただければ

と思います。

## 12月定例会～酒田三中佐藤英喜校長先生のご講話

12月6日(金)、師走の慌ただし中でしたが23名が出席し定例会が開催されました。研修会に先立ち、県功労者章を受賞された3名(和嶋推進員、齋藤推進員、古田推進員)に蘆田会長より感謝状が贈呈されました。次に、研修会のウォーミングアップとしてボードゲーム「ポップジテン」を梅木推進員より出題してもらい、和やかな雰囲気ですべてが始まりました。

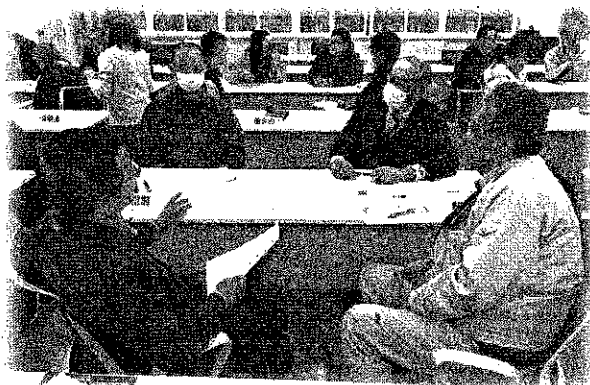
今回は、研修のメインとして酒田三中の佐藤英喜校長先生にお越しいただき「子ども達を地域で活躍させるためのヒント」についてご講話をいただきました。ご講話の柱建では次の3点でした。



- ① ナナメの関係の重要性
- ② 遊佐中でのコミュニティスクールと地域学校協働活動
- ③ 酒三中での三コミ活動とマコモ植栽ボランティア

「ナナメの関係」とは、親でも教師でもない第三者と子どもとの新しい関係のことであり、地域社会と協働し子どもが多くの人と接する場面をつくることの重要性を指しています。その際、子どもたちに「出番・役割・立場」を与え、「あてにする—あてにされる」関係をつくるのが大切であるとお話でした。

②の「遊佐中の実践」では、地域学校協働活動の心臓部ともいえる「熟議の実践」に、生徒たちも参加し委員と対話する場面があるそうです。さらに、生徒が地域連絡員となって各



町づくりセンターとのパイプ役に当たっていることの大切さも付け加えておられました。

現在勤務されている③の「酒三中の実践」では、各自治会長と年2回「未来を語る会」を重ねているそうです。「マコモ植栽ボランティア」にいたっては、平成5年から32回目を数えるの実践となっているとのことでした。

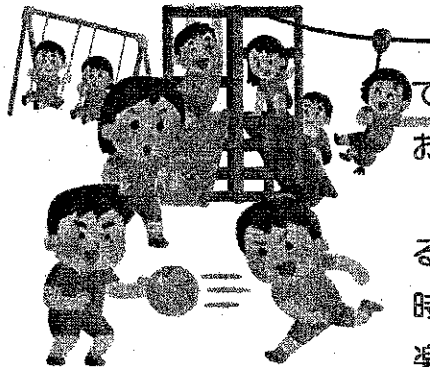
そして何より重要なのは、**それぞれの活動**

**で生徒が主役になって実践されていること**だそうです。

講話終了後に、恒例のグループディスカッションを行いました。その中で、推進員自身が「ナナメの関係」の中心にいることや、子どもたちに思い切って任せる活動を仕組むと、子どもたちの目が輝いてくるとの意見が飛び交っていました。

この研修会で学んだことが、各地域での活動に活かされることを祈っています。推進員のみなさん、よろしくお願いいたします。

## 公園で遊べない子どもたち 続編～「不寛容な社会」

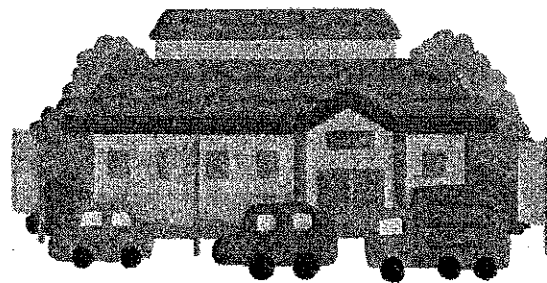


— 前回の青少協だより(No.8)で、“公園で子どもたちが元気に遊んでいると苦情が来る！”という事例を挙げましたが、現代社会においてはそういう事例はけっこうたくさんあると思われます。

先日、旅先で利用した道の駅の駐車場には「ご近所の迷惑になるので～」という貼り紙がしてありました。確かに一般的な就寝時間になってもエンジン音がうるさかったり、中には大音響の音楽をかけ騒いでいたりする人もいるということですから、周辺住

民にとってはたまったものでないのだと思います。この場合は、利用者がもっと気づかいをすることが必要になってきます。

しかし、たいして出入りが多いわけでもない公共の駐車場や、保育園、公園などで同様の声が上がれば行政が対応せざるを得ないというのはどうなのでしょう。



「正義を振りかざす『極端な人』の正体」の著者で国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授である山口真一先生は、その著書で

将来を担う子供の声を「騒音」と断じ、「自分の関わっていないところで育ててくれ」というのは、不寛容で、子育てに不向きな国・地域と言わざるを得ない。

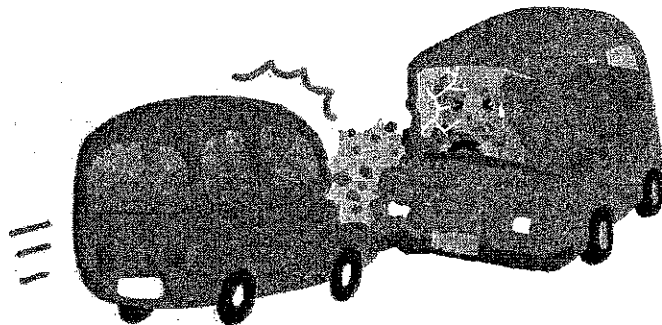
と述べています。

おそらく、道の駅などを自分勝手に使っている輩は、<sup>やから</sup>“自分が占有した場所では何をしてもかまわない”とか“ゴミ箱があるならどんどん捨ててかまわない”などの「自分ルール」で生きている人々です。この「自分が正しいと思っているルール」がトラブルの原因です。そのルールが社会的に認められているルールではないからです。

そういう輩に「ここでBBQをしてはだめですよ」とか「家庭のゴミを捨てる場所ではありません」と言ったら、おそらく逆切れされます。クレマーさんってそうですよね。

同じく前号で、“高齢化した社会は、高齢者には都合の良い社会をつくり出そうとしています”と書きました。実は、ここ青少年指導センターの職員は、みな無事還暦を迎えた者ばかりなのです(笑)が、そういう年齢のわれわれが公用車を運転して街頭指導をしていると、たまに自分が思っていた動きと違

う運転をする車が出て「何だ、あの車！危ないなあ…」って感じる時があります。そう思う背景には「常に自分の運転の仕方が正しい」という認識、ある意味自分勝手な「正義」を持っているからかもしれません。“こういう場合、対向車はこう運転すべきだ！”というような「べき論」にとらわれてしまっているわけです。この「自分の中の正義」を振りかざす極端な人も、先ほどのクレマーと同じく厄介なのだと思います。



## 自分の中の正義

この場合の「正義」は社会的な正義ではなく、個々がバラバラに持っている正義で、ある物事に対して異常なほど不快感を持つ人もいれば全く感じない人もいるような正義です。クレマーやネットを炎上させる極端な人は「正義感」から攻撃的な発信、苦情を発することが多いと言われています。この「自分では正義」と思っていることにとらわれ、自分ルールを振りかざして他を責めたりクレームをつけてくる不寛容な人々が多くなってきていると思いませんか？みなさんはいかがお感じでしょうか。

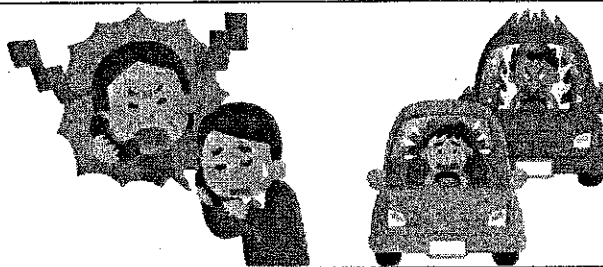
ちなみに山口氏によると、クレマーも極端な人も、①男性②高学歴・高収入③社会階層が高い人…つまり

中高年層の、とりわけに定年退職後の人に多いそうです。われわれと同じく「やべっ！」と思った若干年齢が高く、最近ムカッとしたりイラっとすることが多いと感じているみなさん、気をつけましょうね。



山口氏は「極端な人」にならないためには次の5箇条が効果的だと述べています。

- ① 情報の偏りを知る
- ② 自分の「正義感」に敏感になる
- ③ 自分を客観的に見る
- ④ 情報から一度距離をとってみる
- ⑤ 他者を尊重する



詳しくは著書をお読みください。

## こそんじですか？「民生委員・児童委員」

今回も街頭指導お願いしている酒田市内の関係団体をご紹介します(最終回)。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、無報酬で地域福祉を支えるボランティアです。酒田市にはおよそ230人の民生委員が、市内14地区に分かれ、高齢者や障がい者、子育てや介護をしている方などに声をかけ、日常生活で何か困ったことがないか見守るなどの活動をしています。その活動の中で寄せられるさまざまな相談に応じて、困っている方が福祉制度や子育てサービスを受けられるように、市役所や地域包括支援センターなどの関係機関へつなぐ役割を担っています。

また、児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援を行います。また、一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けています。



松原小学校 校門前で行っている朝のあいさつ運動

### カンガエル算数(New)

先月のお題(今年の小6全国学力テストより)

あいなさんたちは、時間や速さなどについて考えています。

たけるさんは、3分間で 180m 歩きました。

同じ速さで歩き続けると、1800 m を歩くのに何分間かかりますか？

答えは 30分です。(正答率 70.2%)

では、子どもたちはどうやってその答えを出したのでしょうか。算数の苦手な子どもって、「時間と速さ」の勉強や「単位量当たりの大きさ」でつまづきます。ですから、この手の問題がとると「あきらめる」という子どももいます。

この問題は、道のり・速さ・時間の関係の公式を覚えていな



くとも、「速さ」の概念が分かれば解ける問題ですよ。速さが  $180 \div 3$  で分速 60m だから、 $1800 \div 60$  で 30 分なんて解き方をしなくともいい問題です(勿論それでもいいが)。

今月のお題(今年の小6全国学力テストより)

直径22cmの球の形をしたボールがあります。このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます(紙の厚さは考えない)。

この立方体の形をした紙の箱の体積が何ccを求める式を書きましょう。

<正答率は何か？>

- ① 約30%
- ② 約50%
- ③ 約70%

